

ロータリー月例報告書 vol.11

留学先：レッジョエミリア音楽院（イタリア）

爽やかな五月晴れに、夏の気配を感じさせる時期となりました。四月下旬より、書類手続きのトラブルのため一時帰国をしております。帰国の経緯としては、イタリアで長期滞在のために必要となる滞在許可証の申請が棄却されてしまい、ビザを再度取り直す必要に駆られたという理由でした。

私の学校においては試験が全て終わるのが本来七月半ばであり、今回授業をやっている最中急いで帰国をしました。これに伴い授業によっては出席数が足りない状態となってしまいますが、再入国できた際には改めて先生方に相談をと思っております。こういった問題に直面するのも良くも悪くもイタリアらしいなと感じています。

元々は卒業まで帰国するかどうか悩んでいたため思いがけずの帰国ではありましたが、この帰国が決まった直後に知り合いの訃報もあり、何かしらの巡り合わせとタイミングで帰ってくるべくして帰ってきたようにも思います。今回二ヶ月（当初の予定としては一ヶ月弱と思っていましたが）日本で過ごすということで、久しぶりに両親や友人、会いたいと思っていた方達に会う機会を持つことができました。

今回帰省している中で行っていたこととしては、資金工面のため住み込みでアルバイトに行ったり、手続きが帰ってからもうまくいかなかったため東京のイタリア大使館を何度か訪問したほか、少しゆっくりと今の自分を見つめ直す期間を持つことができたようにも思います。できる限りオンライン授業への参加や、学校関係者との連絡は続けていましたが、自分一人で勉強を続ける難しさを実感する日々でした。また、この帰省の間にロータリーの皆様にお会いでき、そして貴重な歌う機会も沢山いただきまして、本当にありがたく思っております。いつも暖かく応援いただきまして本当にありがとうございます。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

無事に手続きができるのか、またいくつかの必ず参加したかった重要なテストには間に合うのかと肝を冷やす日々でしたが、無事に再入国の目処が立ち、六月下旬にはまたイタリアへと戻る事ができる運びとなりました。再入国後には筆記以外にも重唱の試験や、オペレッタ（オペラの短いサイズのもの）の演奏会などが2週間もせずぐにあり、感覚が鈍っているのではないかと不安に感じることも少なくありませんが、無事にイタリアに戻って勉強が続けられることがわかり、とても安堵している自分がいます。次回の帰国の暁には、今回以上にイタリアで磨いた歌を皆様にお届けできるように、また他の学生たちと切磋琢磨しながら気持ちを新たに日々取り組んでいけたらと思っています。



住み込みで働いてきた軽井沢の写真を添えます

以上簡潔ではありますが、今月のご報告とさせていただきます。日頃から皆様本当にいつもありがとうございます。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。